

(1)

## 令和元年度会計決算報告

(収入の部)

項目	予算額(a)	決算額(b)	増減額(b-a)
繰越金	1,604,099	1,604,099	0
入会金	1,600,000	1,559,450	▲40,550
利息	12	12	0
協賛金	1,800,000	4,509,782	2,709,782
寄付金	0	30,000	30,000
雑入	0	0	0
合計	5,004,111	7,703,343	2,699,232

①協賛金のうち、広告費 0円

収入 - 支出 = 4,415,816円(令和2年度に繰越)

【通帳残高】

横浜銀行 4,415,816円

ゆうちょ銀行 0円

②寄付金内訳 昭和45年卒 金澤明氏 (30,000円)

(特別会計・周年行事積立金)

項目	予算額(a)	決算額(b)	増減額(b-a)
繰越金	1,375,378	1,375,378	0
積立金	200,000	200,000	0
周年事業清算金	0	1	1
利息	12	11	▲1
合計	1,575,390	1,575,390	0

(2)

令和元年度会計決算報告-2

(支出の部)

項目	予算額(a)	決算額(b)	増減額(a-b)
会議費	30,000	19,691	10,309
会報費	3,000,000	2,457,768	542,232
通信費	300,000	257,602	42,398
部活動補助費	400,000	100,000	300,000
卒業記念品費	300,000	241,630	58,370
設備整備費	150,000	0	150,000
交通費	0	0	0
同窓会補助費	100,000	0	100,000
名簿管理委託	300,000	0	300,000
雑費	20,000	10,836	9,164
周年行事積立	200,000	200,000	0
予備費	204,111	0	204,111
合計	5,004,111	3,287,527	1,716,584

(特別会計・周年行事積立金)

項目	金額	備考
積立決算額	1,575,390	令和元年度周年積立金合計額
支出額	0	
積立金残額	1,575,390	令和2年度周年積立金繰越分

※今後、100周年記念式典に向けて、各年度の収入額を勘案しながら積立を行っていきます。

令和元年度会計監査報告について

会計監査の結果、上記のとおりであることを報告いたします。

2020年 4月 21日

会計監査 深澤 隆史

(3)

## 令和 2 年度会計予算

(収入の部)

項 目	予算額(a)	前年度予算額(b)	増減額(a-b)
繰越金	4,415,816	1,604,099	2,811,717
入会金	1,600,000	1,600,000	0
利息	12	12	0
協賛金	100,000	1,800,000	▲1,700,000
寄付金	0	0	0
雑入	0	0	0
合 計	6,115,828	5,004,111	1,111,717

(特別会計・周年行事積立金)

項 目	予算額(a)	前年度予算額(b)	増減額(a-b)
繰越金	1,575/390	1,375,378	200,012
積立金	200,000	200,000	0
寄付金	0	0	0
利息	12	12	0
合 計	1,775,402	1,575,390	200,012

※継続的に 100 周年記念事業に向けた積立を行っていきます。

(4)

## 令和 2 年度会計予算(案)-2

(支出の部)

項 目	予算額(a)	前年度予算額(b)	増減額(a-b)
会議費	0	30,000	▲30,000
会報費	0	3,000,000	▲3,000,000
通信費	300,000	300,000	0
部活動等補助費	0	400,000	▲400,000
卒業記念品費	300,000	300,000	0
設備整備費	0	150,000	▲150,000
交通費	0	0	0
同窓会補助費	0	100,000	▲100,000
名簿管理委託費	50,000	300,000	▲250,000
雑費	20,000	20,000	0
周年行事積立金	200,000	200,000	0
予備費	5,245,828	204,111	5,041,717
合計	6,115,828	5,004,111	1,111,717

(特別会計・周年行事積立金)

項 目	金 額	備 考
積立金合計額	1,775,402	令和 2 年度積立金合計額
支出額	0	100 周年まで使用予定なし
積立金残額	1,775,402	令和 3 年度周年積立金繰越分

備 考

令和 2 年度は、コロナウイルス感染症の拡大のため、定期総会の開催ができませんでした。緊急事態宣言や行動の自粛もあり、通常と同窓会活動も大きく制限される状況にあります。また、学校においては休校もあり、コロナ禍のなかでの部活動も制限されています。

こうした状況を踏まえ、令和 2 年度の予算については、通常と同窓会活動が不可能であることから、電話代などの通信費、卒業記念品代など、最低限の同窓会維持に限られた予算編成としました。